

## 9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	◎	乗用車販売店（店長）	・予想以上に来客数が増加し始め、店がにぎわいを取り戻してきていることから、今後、販売台数も単価も伸長する。
	◎	都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスが落ち着いてきており、気温も徐々に上昇するため、景気は持ち直してくる。人々の外食や旅行への枯渇感が反動となり、景気回復の後押しをする。
	◎	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスが終息に向かい、観光業も回復する。
	◎	競艇場（企画営業担当）	・4月にG1競走、5月に企画レースが開催されるため、売上が増加する。
	○	商店街（理事）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が進むと、人々に安心感が生まれ、景気もやや良くなる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、人が街に出て、活気を取り戻す。
	○	商店街（代表者）	・気温が上がり、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると、新型コロナウイルスの影響が緩和し、経済活動に動きが出てくる。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・気温が上がり、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まることで、感染者数が減少し、景気はやや良くなる。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	・新型コロナウイルス対策補助金を活用し、非対面で低リスクの新事業を伸ばすことができれば、景気は良くなる。
	○	百貨店（売場担当）	・客が新型コロナウイルスの感染を防ぐ自分の行動パターンを持ちつつあり、その範囲内で買物を楽しんでいる。新型コロナウイルスのワクチン等の効果が出れば、景気は少しずつ好転していく。
	○	百貨店（外商担当）	・今後、気温が上がり、新型コロナウイルスが落ち着くことで、景気はやや良くなる。
	○	百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が緩和することで、客の動きが良くなる。
	○	百貨店（外商担当）	・2～3か月後には新型コロナウイルスのワクチンが浸透し、客の購買意欲が徐々に上昇してくる。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、新入学シーズン、ゴールデンウィークに向けて多くのプラス材料があることから、景気はやや良くなる。
	○	スーパー（販売担当）	・これまで自粛していた宣伝広告やイベントを再開させる予定であるため、今後、来客数が増加する。
	○	スーパー（営業システム担当）	・緊急事態宣言の解除をきっかけに外での花見需要が増加し、食品や酒等の需要も増加する。
	○	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言の解除や新年度に入ることで、景気はやや良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィークや東京オリンピックが控えているので、景気は少しずつ良くなる。
	○	コンビニ（支店長）	・週末のイベント開催等で人の動きが復活する。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	・緊急事態宣言の解除で、一気に観光客が増加し、来客数も増加していく。また、イベントが再開されれば、再開が更に回復の後押しをする。
○	衣料品専門店（代表）	・気温の上昇や新型コロナウイルスのワクチン接種者の拡大により、新型コロナウイルスの感染者数が減少すれば、経済活動が活発になる。	
○	家電量販店（販売担当）	・決算期や夏商戦に入ることで、景気はやや良くなる。	
○	乗用車販売店（統括）	・新型車効果により景気はやや良くなる。	
○	乗用車販売店（営業担当）	・決算もあり、商談の数が増加している。営業時間の短縮要請などが緩和されれば、景気は上向きになる。	
○	乗用車販売店（営業担当）	・来客数が徐々に増加しており、今後、景気はやや良くなる。	
○	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大で景気はやや良くなる。	
○	自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンなどの明るい話題も増え、人々の気分も少し前向きになっていることから、景気はやや良くなる。	
○	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・緊急事態宣言の解除で景気は更に良くなる。	
○	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されれば、観光客が増加する。	

○	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスが全国的に落ち着きつつあり、また、新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいく。今後、新型コロナウイルスの感染者数が減少し、東京オリンピックも開催の方向に向かえば、5月頃から景気は上向いてくる。
○	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・週を追うごとに来客数が増加しており、景気はこのまま回復基調をたどる。
○	高級レストラン（事業戦略担当）	・Go Toキャンペーンの再開で来客数が増加する。
○	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言の解除が与える心理的効果は大きい。新型コロナウイルスのワクチン接種とともに、ウィズコロナの生活様式がより浸透すれば、客の安心感につながり、景気はやや良くなる。
○	一般レストラン（経営者）	・外出自粛要請が解除され、少しずつではあるが、街に人が戻ってくるため、経済活動が活発になり、2～3か月後には景気はやや良くなっている。現在は過去に経験したことがないほど厳しい状況にあるので、これ以上景気が悪くなることはない。
○	一般レストラン（店長）	・自粛も解除され、徐々にではあるが来客数も回復しつつある。5月以降の団体予約も増加してきており、新型コロナウイルスのワクチンが出回れば、客の流れも更に良くなる。
○	観光型ホテル（副支配人）	・Go To Travelキャンペーンが再開すれば宿泊の予約数が増加する。
○	都市型ホテル（企画担当）	・緊急事態宣言の解除により個人のイベントが増加し、宿泊、レストランいずれも需要が増加する。
○	旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で、新型コロナウイルスが終息に向かえば、東京オリンピック・パラリンピックを始めとするビッグイベントが開催され、旅行需要の回復につながる。
○	タクシー運転手	・緊急事態宣言の解除で、少しずつ人の動きが戻ってくる。
○	タクシー運転手	・春が来て、暖かくなり、花見のシーズンに入るため、徐々に人の動きが良くなる。
○	タクシー運転手	・建設関係の人は年度末まで仕事があり、遊びたがっている様子があるため、景気はやや良くなる。
○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが沈静化しつつあり、プロ野球開幕による晴れのムードが高まることで、景気は春先に向けて上向く。
○	テーマパーク（営業担当）	・緊急事態宣言の解除で人の動きが良くなる。
○	テーマパーク（管理担当）	・Go To Travelキャンペーン等の国の施策により景気はやや良くなる。
○	観光名所（館長）	・緊急事態宣言が解除され、気候も良くなるため、来客数が増加する。
○	その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・新型コロナウイルスが落ち着き、新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始したことで、人の動きが良くなる。
○	設計事務所（経営者）	・客からの問合せや来客数が伸びつつある。また、客と面談したときの客の感触も良くなっているため、今後、契約件数が増加する。
○	住宅販売会社（従業員）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種の開始など新型コロナウイルスの終息に向けての好材料が出てきているので、今後、景気はやや良くなる。
○	住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの普及により、景気は回復傾向に向かう。
○	住宅販売会社（営業所長）	・年度末から新年度に掛けて、人の動きが活発になり、新型コロナウイルス終息後の急速な生活スタイルの変化への対応の動きも出てくるため、一時的に景気が良くなる。
□	商店街（代表者）	・自治体発行のプレミアム付商品券発行などで今はまだ購入機会につながっているが、間もなく期限が来るのでその後どうなるか心配なところがある。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスがやや落ち着き、少しずつ外出者が増加しているが、景気は変わらない。
□	一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の完了がいつになるか不透明なため、景気は変わらない。
□	一般小売店〔茶〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生以降の経済活動がなかなか想定ができず、今後、景気が変わるとは考えられない。

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [印章] (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がまだ先になりそうで、明るい見通しが立たないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [洋裁附属品] (経営者)	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、現在の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (経理担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりつつあるが、まだ時間が掛かりそうなので今の状況がしばらく続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業担当)	・客の年齢層が高いため、新型コロナウイルスが終息しないと、売上が回復しない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種などが順調に進めば外出する客も増加する。Go Toキャンペーンが再開すれば、来客数も多少増加するが、衣料品の需要がどうなるかは不透明である。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業担当)	・今後も来客数は横ばいで推移する。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・来客数の減少だけでなく、客単価の低下や買上点数の減少も起きており、悪い状況が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は現状と変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・買物回数の減少による来客数の減少が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・新型コロナウイルスが終息し、人々が安心して生活できるようになるまでは現状に大きな変化はない。一時的に景気が上昇してもすぐに落ち込む。
<input type="checkbox"/>	スーパー (総務担当)	・今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (業務開発担当)	・新型コロナウイルスで自粛している客の行動や気持ちが縮こまってしまっている。購買意欲を高めてもらおうといろいろ企画してみるが、反応は余り良くなく、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (販売担当)	・新型コロナウイルスの感染者数が増加し、来客数が減少しており、今後もこの状況が続くと景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (販売担当)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (経営者)	・新型コロナウイルスが落ち着かないと景気に変化はない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むまで景気は回復しない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店 (企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が始まるが、新型コロナウイルスの影響による現在の厳しい状況がそれほど改善することはない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (営業担当)	・集客イベント等ができず、量が利益を生む状況から質を上げていく必要があるが、すぐにはできないため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (業務担当)	・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明であるため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [時計] (経営者)	・現状を維持しながら、売上を回復していかなければならない。これ以上売上が減少すると経営が難しくなる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (経営者)	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチンの接種が進んでも、1年間続いている新型コロナウイルスに対する不安はすぐには解消されず、ライフスタイルが元に戻るには時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	スナック (経営者)	・2～3か月で景気が良くなる見込みはない。新型コロナウイルスのワクチン接種が医療機関で始まっているが、効果が出るのは、まだまだ先の8月頃になるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [サービスエリア内レストラン] (店長)	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (営業担当)	・新型コロナウイルスの終息が見込めないと景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (総支配人)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるものの、景気はGo To Travelキャンペーンの再開動向、ワクチン接種の進捗状況により大きく左右されるため先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種の結果が出てから3～6か月後には景気の回復が期待できる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、売上が通常と比べ2～3割減少しており、しばらくはこの状況が続く。

	□	通信会社（企画担当）	・新年度、春に向けての新サービスの紹介や活発なキャンペーンの展開が難しい。客が新型コロナウイルスに順応しており、今後、サービス需要が大幅に伸長するとは思えない。
	□	通信会社（経理担当）	・先行きが不透明な状況が続いているため、今後も特に変化はない。
	□	通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルス禍の客の様子からは景気が良くなるとは考えられない。
	□	ゴルフ場（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、企業、個人いずれも新型コロナウイルス対策が前年よりはできているが、団体の予約はまだ難しいため、状況は余り変わらない。
	□	美容室（経営者）	・少しずつ回復はしているが、まだまだ新型コロナウイルスがどう転ぶか分からず、冠婚葬祭が少ないため、今後も厳しい状況が続く。
	□	設計事務所（経営者）	・自地域の新型コロナウイルスの状況は改善しているが、東京や東京近隣地域の新型コロナウイルスの状況が改善されるまで、しばらくは自粛ムードが続く。
	□	設計事務所（経営者）	・空き家や古家の耐震等状況調査の依頼は少しずつ出てきているが、新築の物件が出てこないため、今後も変わらない。
	▲	商店街（代表者）	・客の購買力がかなり低下しており、今後どうしても欲しい商品しか購入してもらえない状況が続く。
	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍で実績を伸ばしてきた反動で景気はやや悪くなる。
	▲	家電量販店（店長）	・本来ならこれから新生活関連の需要が盛り上がってくるが、新型コロナウイルスの影響で特に会社関係が異動を抑制すると売上が減少し、景気はやや悪くなる。
	▲	乗用車販売店（店長）	・客の購入意欲が低下し、来客数や商談件数が大幅に減少しており、数か月先も大変厳しい状況になる。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	・決算が終了し、客の動きが悪くなる時期になるため、景気はやや悪くなる。
	▲	その他専門店 [布地]（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き届き、人が安心して外出するようにならないと、景気の回復は難しい。
	▲	放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの長期化で、家計の支払能力にプラス要因が見当たらないため、景気はやや悪くなる。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
	×	百貨店（販売計画担当）	・商品取引先の減産や規模の縮小で商品販売に支障が出てくると、景気は悪くなる。
	×	スーパー（財務担当）	・キャッシュレス還元事業終了後の買い控えや、所得減少による節約により、来客数や買上点数が減少し、売上も減少する。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、来客数も売上も増加しないので、景気は悪くなる。
	×	住関連専門店（営業担当）	・毎月いろいろなイベントを開催しているが、全部失敗しており、今後も景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・今後も新型コロナウイルスの影響が続くと、購買行動が活発化せず、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・2～3か月では景気は回復に向かわない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと変化が出てくる。
企業 動向 関連  (中国)	◎	*	*
	○	木材木製品製造業（経理担当）	・2月まではやや悪いが、今後、景気は回復してくる。
	○	化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスに対応した事業継続の仕組みが構築されつつあり、徐々に落ち着いてきているため、今後、景気はやや良くなる。
	○	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業向け生産量が回復し、雇用調整も中止する計画になっており、今後、景気はやや良くなる。
	○	鉄鋼業（総務担当）	・数か月先の受注予測も回復傾向にあるため、今後、景気はやや良くなる。
	○	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が浸透すれば、心理的な面からも良くなる。
	○	輸送業（支店長）	・ライフスタイルや購買行動の変化で、通販やフリーマーケット市場は今後も伸長する。
	○	通信業（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者も少なくなり、緊急事態宣言による制限が緩和するため、客の経済活動が活発化する。

	○	会計事務所（経営者）	・総務系間接部門からのアウトソーシング業務受託が稼働する予定である。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるのが心理的プラス要因として働くため、今後、景気はやや良くなる。
	□	農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンの効果でどれだけ状況が好転するのか分からないが、現状では景気は変わらない。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種時期が発表されたが、詳細は未定である。新型コロナウイルス禍の国民の生活不安が払拭されないと、厳しい状況が続く。
	□	食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種でどうなるか分からないが、現状では景気は変わらない。
	□	繊維工業（監査担当）	・特に売上拡大につながる要因はないので、前年並みになる。
	□	化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、今後も景気は変わらない。
	□	鉄鋼業（総務担当）	・今後も景気に大きな変化はない。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	・金属価格の高騰もこれ以上は期待できないため、景気は変わらない。
	□	金属製品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスが終息すれば、景気は回復に向かい、設備投資も増加するが、現時点では状況が好転するという情報はない。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから判断すると、景気は変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・景気の回復にはあと半年は掛かる。
	□	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・明らかに悪化している訳ではないが、主要客からの受注内示は都度、変化しており、先行きがはっきりと見通せる状況ではないため、景気は変わらない。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で見合わせていた事業が少しずつ動き始めているため、現在の状況が続く。
	□	建設業（総務担当）	・当面は現状が継続する。
	□	輸送業（総務・人事担当）	・今後、受注数量が増減する要素がないため、景気は変わらない。
	□	通信業（営業担当）	・受注量が減少、引き合いも少ないことから、年度内は厳しい状況が続く。その後も、景気回復が見込める好材料が見当たらないことから、厳しい状況は変わらない。
	□	金融業（貸付担当）	・緊急事態宣言の解除で、企業の売上や収益は持ち直してくるが、急速な回復は見込めない。
	□	金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの世界販売が当面は伸び悩むため、地元自動車部品メーカーの受注も伸び悩む。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、客からの受注量や販売量が増加する見込みがない。
	▲	一般機械器具製造業（管理担当）	・国土強じん化計画のSS事業補助金が終了したため、今後、景気はやや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・装置関連は特に汎用品ではなく取引先の製造工程等により仕様が変わることから、対面営業を主としている。今後も電話やリモートなどによる営業活動が続けば、受注につながらないため、景気はやや悪くなる。
	▲	不動産業（総務担当）	・例年どおり、賃貸物件の需要時期を過ぎるため、悪くなる。
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連  (中国)	○	人材派遣会社（支社長）	・派遣などの有期雇用離れが起きており、完全回復はないが、緩やかな回復傾向は続く。
	○	人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスの影響が緩和することで、営業活動の時間が捻出でき、新規受注が増加するため、景気はやや良くなる。
	○	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種が進むことを考えると、これ以上景気が悪くなるとは考えられない。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの拡大にやや歯止めが掛かってきた感があり、今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展すれば、消費活動や企業活動も徐々に回復する。

○	民間職業紹介機関（職員）	・飲食店の営業時間短縮が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことで、出口戦略が描けそうな雰囲気になってきている。採用を抑制していた企業も折を見て人材募集の再開へかじを切り始めるため、景気はやや良くなる。
○	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・新型コロナウイルスの終息を見据えて、削減していた店舗の人員数を元に戻すことに備えるといった求人計画をする企業も出てきているため、今後、景気はやや良くなる。
○	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの情報が出始めたので、明るい兆しが出てくる。
○	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスのワクチン導入に対する期待感、国や地方公共団体の支援などにより、景気は徐々に回復する。
□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大で、経済活動は徐々に元に戻ってくるが、2～3か月では上向きにはならない。
□	人材派遣会社（支店長）	・新年度を迎え、ほとんどの業界の採用が落ち着く。新卒採用も始まり、新年度からスタートする新入社員の育成や配置などの様子によって5月頃から動きが出てくる。
□	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息する見通しが立てば、求人活動も活発になる。
□	求人情報誌製作会社（広告担当）	・先行き不透明感は拭い切れず、まだまだ良くなる気配はない。ただ、どの企業も、依然として、新卒採用には前向きで、超売手市場時のように無理をしてまでは採用しないが、良い人材がいれば積極的に採用するスタンスは変わらない。新卒採用、中途採用共に数合わせの時代は終わり、今後ますます、良い人材を採用する傾向が強くなり、格差が生じてくる。
□	職業安定所（雇用関連担当）	・緊急事態宣言が完全に解除されないと地方経済は回復しない。
□	職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスの影響が多業種にわたっているが、雇用調整助成金等の申請は減少に転じている。ただ、企業は、緊急事態宣言の延長や先行き不透明感などから、求人活動について慎重になっている。雇用保険関係を前年と比べると、1月の適用事業所数は2.6%の増加、1月の被保険者数は10.7%の減少、1月の資格喪失者数は7.7%の減少となっている。1月の新規求職者数は前年と比べ4.0%減少しているが、1月の有効求職者数は前年と比べ18.0%増加している。
□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・周辺企業の動向を見ても、新卒採用の動きが鈍化しており、新型コロナウイルスの終息のめどが立たない限り、その流れはしばらくは変わりそうにない。
▲	職業安定所（所長）	・11月までは宿泊業を中心に業績が回復傾向にあったが、12月の新型コロナウイルスの感染拡大、Go To Travelキャンペーンの停止、年明けの大雪、関西圏での緊急事態宣言の影響が大きく、求人を取り消すケースが相次いでいる。
×	—	—